

あれこれ

町政を問う



松本 一二美 議員

Q. 命を守る防災対策を

A. シェイクアウト訓練を検討する

問

内閣府は、8月29日南海トラフ巨大地震による建造物と人的被害の予測を公表した。

当町も防災対策の見直しが必要ではないのか。命を守る防災対策を伺う。

① 南海トラフ巨大地震の想定発表を受けての見解は。

② 防災対策審議委員に女性登用を。

③ 自治体独自のFM局の開設を。

④ 避難所のトイレ代用でマンホール使用を。

⑤ 中学生にHUGを使った避難訓練の実施を。

⑥ 火災報知機設置推進と障がい者に配慮は。

⑦ シェイクアウト導入を。

シェイクアウトとは

(市民参加型一斉震災訓練)

指定された日時に一斉に同じ動作をする訓練のこと。居合わせた場所

で身を伏せ、頭を守り、揺れがおさまるまで動かないという単純な安全行動をとるのが決まりごと。

答

防災担当副町長

① 現在、防災対策プロジェクトチームの課題

対策班と専門分野別のワーキンググループで具体策を検討中。

② 地域防災計画策定時や見直しの際に招集する防災会議に、女性の参画をお願いする。

③ 防災対策プロジェクトチームで検討する。

④ 避難所となる学校の耐震化の状況などを踏まえ、研究する。

⑤ 今のところ考えはない。

⑥ 今年6月アンケート調査で設置率は43.8%

「伊予地区住宅用火災警報器設置対策連絡会」を設立し、設置率100%を目指す。

障がい者の方には直接説明する。

⑦ 総合防災訓練の際、屋外訓練放送に合わせた住民参加を検討する。



問 子どもたちの健康支援としてミストシャワーの設置を

ミストシャワーは、水を霧状にして散布するもので、水道の蛇口と直結して使用するため電気は不要。低コストだが平均して2〜3度ほど気温が下がる。噴射された霧は素早く蒸発するため、体は濡れることなく、熱中症を防ぐ効果がある。

小・中学校、保育所、幼稚園の砂場、廊下や体育館の前などに設置を要望するが、見解は。

答 早速設置する
学校教育課長

今までも熱中症対策をとっているが、さらなる対策として、費用対効果も十分認められるので、早速各小・中学校にミストシャワーを設置し、運動会に利用する。

保育所、幼稚園への設置は、その効果を見て検討する。

問 その他の質問
不活化ワクチンの対応は

答 接種対象者554名に案内文書を送付済。